

# 消防だより

Vol.6 発行 令和4年11月

令和4年1月1日～令和4年9月30日

波岡地区火災件数 6件

波岡救急隊出動件数 1335件



きさぽん

編集・発行/消防署波岡分署

担当 吉原・村串・松野

木更津市下烏田813-1

TEL・FAX0438(36)3125

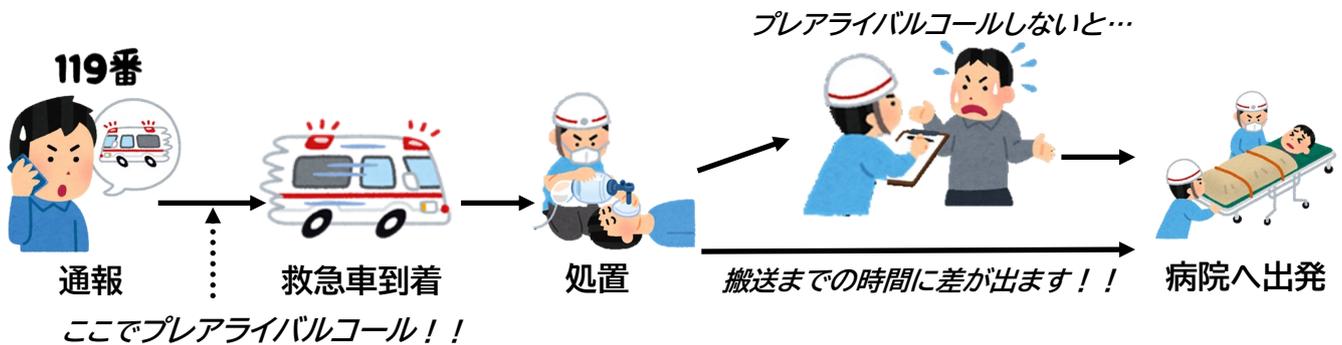
e-mail: sho-nami@city.kisarazu.lg.jp

2022年度全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

## 『プレアライバルコール』にご協力をお願いします！

救急車を要請した後に、救急隊から通報者に「折り返し電話(プレアライバルコール)」をすることがあります。基本的な救急活動の流れは、以下のとおりです。



**目的**…プレアライバルコールとは、出動した救急隊が円滑に活動を行い、傷病者を病院に搬送するまでの時間短縮を目的とし、救急車が現場に到着するまでの間に情報収集を行う事です。

**利点**…傷病者の容態を詳細に把握することや、ご家族に保険証・お薬手帳・診察券を事前にご用意して頂くことで、早期病院搬送に繋がります。

119番通報した後に、知らない番号から電話が掛かってくることがあります。その電話は出動している救急隊かもしれませんので、ご協力をよろしくお願い致します。

## 消防豆知識 第2弾

### ～「火の用心」の語源～

普段何気なく見かける「火の用心」という言葉の語源をご存じですか？この言葉の歴史は、なんと戦国時代までさかのぼります。

古い記録として、徳川家康の家来である本多作左衛門重次が家族へ送った短い手紙に「火の用心」という言葉が使われていたそうです。

**一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ**

手紙の意味は、「お手紙差し上げます。火の取扱いに気をつけて、お仙(息子)を大切に、馬の手入れを頼む」といったもので、昔の人々も火の取扱いに気をつけて生活していた様が伺えます。乾燥し、火災が発生しやすい季節となってきましたので、「火の用心」に今一度、ご協力をよろしくお願い致します。



# 携帯電話等から119番につながらないときは

- 慌てる事なく、周囲に助けを求め通報をお願いするか、近くの公衆電話を利用しましょう。

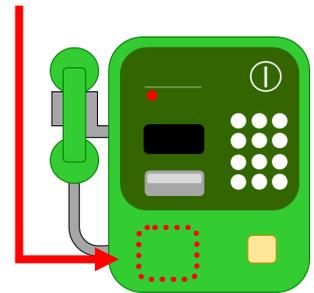
通信・通話障害が発生し、スマートフォンや携帯電話から119番通報がつながりにくい場合は、近隣の方やお店などに119番通報を依頼する、公衆電話を利用する、消防署に直接駆け込むなどのご対応をお願いします。

- 公衆電話からの119番通報のかけ方



- ①受話器をあげて赤いボタン(緊急通報ボタン)を押して下さい。
  - ②発信音が聞こえたら110、119等をダイヤルしてください。
- ※硬貨やカードは不要です。

赤いボタンがない公衆電話の場合



受話器をあげ発信音が聞こえたら110、119等をダイヤルしてください。  
※硬貨やカードは不要です。

## 救急隊のコンビニ等利用について

- 救急隊員のコンビニエンスストアなどの利用についてご理解とご協力をお願いいたします。

救急要請が増加しており、救急隊が消防署に帰ることができず、水分補給や食事をとることが難しい状況が多くなっています。そのため、傷病者を医療機関へ搬送した後、常に救急出動できる体制を維持しながらトイレの利用、水分補給や食事のため病院内の売店・コンビニエンスストア・自動販売機などを利用することがあります。

隊員の健康管理及び救急活動の質を維持するためにも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



もしも!のときは…

119番